

収穫体験できる橋永農園

◆自然ゆたかな東陽町で旬の味覚を

橋永農園は、八代市東陽町にある小さな農園です。「楽しい収穫体験を提供したい」という想いで、令和元年の幕開けと共にスタートしました。農園は自然ゆたかな九州山地の山あいの中にあり、標高は320m。平地と比べると涼しく、ブルーベリー狩りや栗拾い体験ができます。

橋永農園のブルーベリーは、全部で5種類。6月上旬から7月下旬まで、品種ごとに旬が訪れます。そのまま食べるのもよし、持ち帰ってジャムにするのもよし。甘酸っぱくて何粒でも食べたくなるおいしさです。8月下旬から9月中旬は、栗の収穫時期。橋永農園最大のイベントです。落ちたての栗は大粒でピカピカ！1時間ほどで両手いっぱい拾ってこられるお客様もたくさんいます。

敷地内には加工場があり、冷凍ブルーベリーなどを作っています。12～1月には、東陽町で唯一のミカン専業農家である山本さん家のミカンを販売していますので、ぜひお立ち寄りください。

■体験 晩白柚収穫(1月下旬)

ブルーベリー狩り(6月中旬～8月上旬)

栗拾い(9月初旬～中旬)

■商品 冷凍ブルーベリー(通年)

生栗(9月初旬～中旬) みかん(10～11月)

デコボン(12～3月)



およね御前のブルーベリー

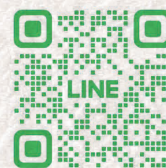
◆自然の恵みそのまま、無農薬で育てたドライフルーツ贅沢なブルーベリー



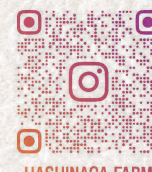
(株)橋永農園のおよね御前ブルーベリーのドライフルーツは、八代市東陽町の豊かな自然環境の中で育ったブルーベリーを無農薬で丁寧に乾燥。ぎゅっと詰まった一粒で、健康的なドライフルーツを楽しむことができます。自然

が発生するエネルギーを、毎日の食卓にどうぞ。

キャラクターデザインは東陽町に伝わるおよね御前です。



公式LINE



Instagram



(株)橋永農園



住所／熊本県八代市東陽町河俣3517

TEL／0965-65-2526(090-6222-2704)

営／9:00～15:00 休／雨天時P／有 トイレ／有

E-mail hashinaga.farm@gmail.com



八代市東陽町観光農園

(株)橋永農園

ブルーベリー収穫体験。

◆甘くて芳醇。無農薬で育てた果実

「こんなに甘いブルーベリーはじめて食べた!」。そう言って喜んでいただくことが一番の喜びです。橋永農園では、粒が大きく食味のいいシャープブルー、甘くて中玉のホームベル、糖度の高いティフブルーなどを中心に、6種類のブルーベリーが楽しめます。6月上旬から7月下旬の間に品種ごとに旬が訪れ、完熟の時期が重ならないのが観光農園のよさ。いつ訪れても、ベストなものを食べることができます。加工場「夢工房」では、摘みたての新鮮なブルーベリーを冷凍保存しています。オーダーがあればセミドライ加工も可能。シーズン以外も直売していますので、ぜひ一度橋永農園のブルーベリーをご賞味ください。

[ブルーベリー狩り] 6月中旬～8月上旬

[通年販売] 冷凍ブルーベリー(1kg)
3,000円(税別)



栗収穫体験。

◆明るい畑で育ったつやつやの栗

栗拾いのシーズンは9月初旬～中旬。栗の収穫は、橋永農園最大のイベントです。採れたての栗はつやつやピカピカ! 畑は東南を向いているため影が少なく、太陽の光がきれいに当たります。そのため、2L～3Lと大粒に育つのが特徴です。農園では早生栗からはじまり銀寄栗、筑波栗、国見栗、利平栗など、数種類の栗が時期をずらして旬を迎えるので、期間中はいつでも美味しい無農薬の栗を拾うことができます。蒸して食べるとホクホクと美味しく、形がしっかりしているので渋皮煮などにもおすすめ。生栗は9月初旬～中旬に販売、冷凍保存した剥き栗は通年で販売していますので、ぜひ産直の味を楽しんでください。

[栗拾い] 9月初旬～中旬

[通年販売] 冷凍剥き栗(1kg) 時価※1
※1 時価は電話でお問合せ下さい。



およね御前生姜梅酒



たっぷりの生姜で体温まる!
甘酸っぱい、わたしの梅酒。

およね御前「生姜梅酒」

樹上完熟で収穫した梅「翠香」、ポカポカに温まる東陽町産の生姜をたっぷり使用。江戸時代に活躍した、八代市東陽町にゆかりのある「およね御前」をイメージして作りました。甘酸っぱい風味の中にピリッとした舌触りが楽しめる、女性のための辛口梅酒です。東陽町のある八代市は、石工の町。日本遺産『石工の郷 八代』に認定され、ものづくりの精神が伝わる風土です。球磨焼酎蔵元・林酒造場と開発した、熊本ならではの味をご賞味ください。

東陽町に伝わるおよね御前



町史にその名が残る人物。謎に包まれたその正体は、東陽町北地区の権三別当夫人、そして熊本県八代市泉町柿迫にある釈迦院(天台宗の寺院)の草創者、奘善大師の母だと言われています。江戸時代に生き、寺務に当たる家族を温かく支えた女性およね御前。その存在が、日ごろ頑張る私たちを優しく癒してくれます。